FUJISHIMA HIGH SCHOOL

Aim High

志を立てむ

SCHOOL GUIDE 2026

学校案内



福井県立藤島高等学校

Life & Charm

「藤高生」の生活
「藤高」の魅力

藤高生の1日のタイムスケジュール

	8:25までに登校
	8:40〜 1限目
	9:35〜 2限目
	10:30〜 3限目
	11:25〜 4限目
	12:10〜 昼　食
	12:50〜 5限目
	13:45〜 6限目
	14:40〜 7限目
	15:25〜 清　掃
	15:40〜 S　H
	部活動等
	18:30　完全下校

学 校 概 要 / SCHOOL OVERVIEW /

01 沿 革 / History

- 1855年　福井藩校「明道館」を城内に創設
- 1857年　二代館長・橋本左内就任
- 1869年　「明新館」と改称
- 1882年　「福井県福井中学校」として発足
- 1892年　「福井県高等女学校」開校
- 1948年　学制改革に伴い、福井中学校と福井高等女学校を統合して「福井第一高等学校」として発足
- 1949年　「藤島高等学校」と改称
- 1956年　創立百年祭・現校歌制定
- 1980年　藤島・高志学校群選抜制度実施
- 2004年　藤島・高志学校群選抜制度廃止、全県一学区による選抜を開始
- 2006年　創立百五十周年記念式典を挙行



橋本 左内



02 教育信条 / Educational Creed

1. 真理と正義　*2.* 自主と責任　*3.* 敬愛と協同

03 スクールミッション 使 命 / School Mission

希望ある未来社会を切り開くため、地域・日本・世界の課題を自ら進んで見出し、粘り強く真理探究を推し進め、課題解決を図ることができる「研究力」と、様々な知識・経験を結びつけ、多様な視点を往還しつつ問題構造を俯瞰的に捉えることができる「厚みのある教養」とを併せ持ち、さらに未来社会での新たな価値を見出し、希望ある展望を他者と分かち合いながら意思決定や合意形成をリードしていくことのできる「創造力」と「志」を備えた人材の育成を目指す。

04 グラデュエーション・ポリシー 育てたい生徒像 / Graduation Policy

「豊かな教養と感性を備え、深く考え、
未来社会をデザインする人間を育成する」



学習・教育課程 / STUDY & EDUCATIONAL CURRICULUM /

01 藤島高校での学び / Learning

Point 1

高い学力の育成

それぞれの生徒の高い進路志望を実現するため、基礎的な学力を土台に発展的な内容を積み上げていきます。３年次には志望大学別の夏季および冬季特別講座、各教科による添削指導、小論文および面接対策など生徒一人一人のニーズに応じたきめ細かな進路支援を行っています。東京大学、京都大学、大阪大学、名古屋大学などの難関大学や医学部医学科の入試にも十分対応できる力を身に付けることができます。

Point 2

探究的な学び

ＳＳＨプログラムにおける学校設定教科「研究」では、３年間を通して探究的な学習を行います。学術的な課題研究に取り組むことにより課題設定力・論理的思考力・批判的思考力などを高め、科学的思考の型を身に付けて「研究力」を養います。また、文系・理系が協働して幅広い知識をつなぎ深く考える「教養」を育み、価値を創造し社会の変革を目指していく「志」を高めて、大学進学後の専門的な学びや研究につなげていくことができます。

Point 3

個性あふれる仲間との協働

藤島高校は、学業だけでなく、学校行事や部活動に熱心に取り組む生徒が多く、個性あふれるたくさんの仲間に出会える学校です。その仲間たちと授業や部活動、学校行事などを通して様々な価値観や考えを共有し、時にはぶつけ合い、「協働」して活動することで建設的・発展的な思考力、物事に対する俯瞰的な見方・考え方、そして実践的な行動力を身に付けることができます。







02 令和８年度 入学生の教育課程 / Educational Curriculum
（必修科目・選択科目・単位数）

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
1年共通		現代の国語 2		言語文化 3			地理総合 2		歴史総合 2		数学Ⅰ 3			数学Ⅱ 1	数学A 1	物理基礎 2		生物基礎 2		体育 2		保健 1	芸術Ⅰ 2		英語コミュニケーションⅠ 4			論理表現Ⅰ 2		家庭基礎 2		研究Ⅰ 2		LH 1
2年	文系	論理国語 2		文学国語 2		古典探究 2		地理/日本史/世界史探究 3			地理/日本史/世界史探究 3			公共 2		数学Ⅱ 3			数学B 2		数学C 1	情報/数理 2		体育 2		保健 1	英語コミュニケーションⅡ 4			論理表現Ⅱ 2		研究ⅡB 2		LH 1
	理系	論国 1		文学国語 2		古典探究 2		地理/日史/世史 2		公共 2		数学Ⅱ 3		数学Ⅱ 1	数学B 1	数学C 1	化学基礎 2		化学 2		物理／生物 3				体育 2		保健 1	英語コミュニケーションⅡ 4			論理表現Ⅱ 2		研究ⅡA/ⅡS 2		LH 1
3年	文系	論理国語 2		文学国語 2		古典探究 2		地理発展 3			日史/世史/政経 3			数学考究 3			数学A 1	数学C 2		理科考究 4				体育 3			英語コミュニケーションⅡ 4			論理表現Ⅲ 2		情報Ⅰ 1	研究Ⅲ 1	LH 1
								日本史発展 3			世史/地理/政経 3			芸術創造 3			芸術Ⅱ/フードデザイン 3																
								世界史発展 3			日史/地理/政経 3																								
	理系	論理国語 2		文国 1	古典探究 2		地理/日史/世史 2		数学Ⅲ 4					数学A 1	数学B 1	数学C 1	化学 4			物理／生物 4				体育 3			英語コミュニケーションⅡ 4			論理表現Ⅲ 2		情報Ⅰ 1	研究Ⅲ 1	LH 1

※研究Ⅰ、研究Ⅱ、研究Ⅲは学校設定科目。各科目の下に置かれている数字は週あたりの授業時数。　※授業時間は１単位＝45分で実施。

FUJISHIMA SSH

文理融合のための共通基盤と専門知を備えた
科学技術・イノベーション人材の育成

藤島高校SSHでは学校設定科目 **研究** を設置し、
研究力 **教養** **志** の３つの柱で
科学技術・イノベーション人材を育成します。

研究力

高度な専門知
科学的思考の型

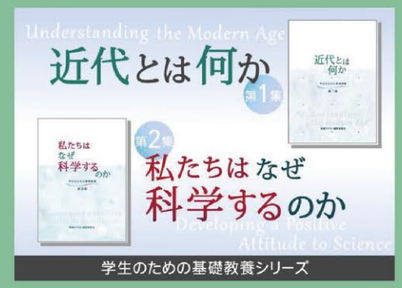




教養

知識経験をつなぎ
問題構造を俯瞰的に
捉える力





教養を育む教養テキスト

志

文理協働での価値創造
社会変革の公的姿勢と
キャリア設計



研究Ⅲ

- 「科学技術とイノベーション」をテーマに文理融合





文系・理系混合して科学技術と社会変革の過去・現在・未来を語り合い、専門家の話も伺いながら、未来社会をデザインしていく活動を行います。

研究Ⅱ

- 学問領域に分かれて課題研究
  →「専門知」形成
- 科学的思考の型形成
  ＝文理融合の共通基盤へ





自ら課題を設定して、研究活動を推し進め、大学の先生に質問したり、アドバイスをいただいたりして、専門的な知識を深めていきます。

研究Ⅰ

- 研究基礎スキル習得
- 「教養」「志」の基礎





KJ法や社会問題を扱うプレゼンテーション、実践的なミニ課題研究などの活動を通して、「研究力」「教養」「志」の基礎を築きます。

藤島サイエンスAGORA




高度な実験や実習に、校内外で触れて学ぶ講座

科学先端エクスカーション





海外や関東など先端科学に触れる充実した研修

未来共創プラットフォーム

大学・研究機関・企業・卒業生といった多くの外部機関と連携し、協力を受け、「研究」の授業やサイエンスAGORAなどの教育活動を充実させています。

社会人 ― 大学 ― 研究機関 ― 企業 ― 卒業生 ― 高校 ― 中学校

学校行事 / SCHOOL EVENTS /

1学期 4月▶7月

- 入学式
- 1学期始業式
- 1年オリエンテーション
- 中間考査
- 遠足
- ようこそ先輩
- 春季総体
- 1年合唱コンクール
- 期末考査
- 球技大会（3年）
- SSH校内研究発表会
- 夏季特講
- 京大セミナー・ラボ



入学式


遠足


卒業生40名近くを講師に迎え、高校時代やお仕事についてのお話を伺い、職業・進路選択の参考にしています。

ようこそ先輩


春季総体


球技大会


学習風景

2学期 8月▶12月

- 夏休み
- SSH県外研修
- 2学期始業式
- 学校祭
  - 文化祭
  - 体育祭
- 中間考査
- 2年学問発見講座
- 2年修学旅行
- 新人大会
- 期末考査
- 東大セミナー・ラボ


関東研修


茨城県つくば市のJAXAや理化学研究所を訪問し、最先端研究について学びます（本校卒業生のお話も伺います）！


体育祭


修学旅行



東大セミナー・ラボ

3学期 1月▶3月

- 冬休み
- 3学期始業式
- 共通テスト
- SSH生徒課題研究発表会
- 学年末考査
- 卒業式
- 球技大会（1、2年）


課題研究発表会

2年生が毎週取り組んできた課題研究について発表します（口頭・ポスター）。毎年、熱のこもった発表となっています！


サイエンスゼミ



卒業式

部活動 / CLUB ACTIVITIES /



運動部 SPORTS

陸上部
男女バスケットボール部
男女バレーボール部
卓球部
男女ソフトテニス部
男女ハンドボール部
（女子は2028年度までに募集停止）
サッカー部
男女バドミントン部
剣道部
弓道部
男女テニス部
山岳部（2026年度募集停止）
野球部

文化部 CULTURE

茶華道部
新聞部
合唱部
美術部
書道部
演劇部
文芸・漫画研究部
吹奏楽部
ESS部
放送部
JRC部
弦楽部
箏曲部
SSH 数学・情報
SSH 生物
SSH 化学
SSH 物理・地学
SSH 国際教養
囲碁・将棋部
ジャグリング部

（※2026年4月末現在）

全国大会における実績（一例）

部活動に限らず生徒が主体的に各種コンテスト・大会に参加しています。

第11回 PDAパーラメンタリーディベート世界交流大会
準優勝

第11回 PDA高校生即興型英語ディベート全国大会
準優勝

第20回 全国高校生英語ディベート記念大会
準優勝



稲木 幸恵（明道中出身）
山本 優（鯖江中出身）
岡崎 哲士（丸岡南中出身）
舟木 寛人（大東中出身）
松波 育生（福井大義務教育学校出身）
小鶴 悠斗（光陽中出身）

第13回 科学の甲子園全国大会（2023）
総合成績 **第5位**
実技競技 **第1位**



伊藤 秀（武生第一中出身）
鈴木孝志朗（美山中出身）
高原 康介（中央中出身）
藤永 蒼太（成和中出身）
菅江 天（至民中出身）
坂井 勇太（大東中出身）
本田 叡大（福井大義務教育学校出身）
堀田未羽人（大東中出身）

主な大学合格者数 / ACHIEVEMENT /

国立大学	2024年3月	2025年3月	2026年3月
北海道大	8	4	4
東北大	2	1	3
筑波大	4	7	7
お茶の水女子大	1	1	2
東京大	6	8	7
東京外大	1	1	0
東京科学大(東京工業大)	3	1	2
一橋大	0	1	2
横浜国立大	9	6	2
新潟大	7	3	3
富山大	8	9	11
金沢大	36	30	34
福井大(教)	5	6	8
福井大(国)	3	1	3
福井大(工)	15	15	12
福井大(医)	19	15	12
福井大(看)	3	2	2
静岡大	6	6	2
名古屋大	6	9	10
名古屋工業大	3	3	1
京都大	7	15	13
大阪大	24	20	13
神戸大	18	12	11
奈良女子大	0	4	2
広島大	10	12	11
九州大	3	0	2
その他	37	28	36
合計	244	220	215

公立大学	2024年3月	2025年3月	2026年3月
横浜市立大	1	1	0
福井県立大	7	2	6
都留文科大	2	1	0
岐阜薬科大	1	1	1
名古屋市立大	4	2	1
京都府立大	3	1	3
大阪公立大	18	9	11
その他	13	13	19
合計	49	30	41

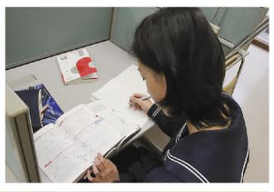
私立大学	2024年3月	2025年3月	2026年3月
自治医科大	7	3	2
青山学院大	6	9	13
慶応義塾大	16	7	13
上智大	7	1	3
中央大	4	23	9
東京理科大	30	24	19
法政大	8	11	12
明治大	16	26	12
立教大	2	5	0
早稲田大	14	18	22
京都女子大	8	6	5
同志社大	73	94	80
立命館大	136	150	125
関西大	41	26	25
関西学院大	50	34	27
その他	177	127	204
合計	595	564	571

(各大学の合格者数は既卒生含む)

海外大学	2024年3月
Taylor's College (Malaysia)	1
Depauw University (U.S.A.)	1
Earlham College (U.S.A.)	1
Green River College (U.S.A.)	1
Grinnell College (U.S.A.)	1
Knox College (U.S.A.)	1
Ohio Wesleyan University (U.S.A.)	1
合計	7

(※2025年は、海外大学進学者なし)







左内ホール / Sanai Hall

左内ホールは、明道館 二代目館長 橋本左内先生にちなんで名づけられた自習室です。全154席で、朝や放課後など日々利用されています。非常に静かで、集中して自分と向き合える環境となっており、多くの生徒たちが勉強に勤しんでいます。

卒業生より / MESSAGE /

01 各界で活躍する卒業生からのメッセージ / Message



小松 長生氏
― 1976年3月卒 ―
(指揮者)

高校での3年間は、一生続く友情を得、また自分が何を欲するか何になりたいかとの問いに直面する時期に当たる。教材を受動的に与えられる「義務」教育から脱して、自らの人生を創造していく誠に重要な形成時期なのである。藤島高校の伸びやかな校風が、指揮者を目指していた私を温かく抱擁し勇気づけてくれた。諸君がやがて充実した高校生活を送られるよう願う次第である。



葛野 尋之氏
― 1980年3月卒 ―
(青山学院大学 法学部教授)

大学で教育・研究に携わる者として高校生に期待するのは、大学入試をゴールにするのではなく、大学において学び考え、さらには社会のなかで自分らしく生き、社会をよりよいものとしていくための力の基礎になるものを獲得することです。藤島高校の伝統と教育における進取性は、自ら学び考え、自分らしく生き、よりよい社会を設計し創造する力を陶冶してくれるでしょう。また、なにかに打ち込んだ経験や深い人間的交流は、社会のなかで担うべき役割を自覚させ、弱い立場にあって苦しんでいる人のことを思い遣る力を育んでくれるでしょう。



俵 万智氏
― 1981年3月卒 ―
(歌 人)

藤島高校時代の友人や先生とは、今でも、とても親しく、心をゆるせる間柄だ。まだ何者でもない時期に、人間対人間として出会い、信頼関係を築けた人というのは、一生の財産だと思う。だから、「出会い」が、高校時代の一番の収穫だ。

藤島にある「伝統」の重さは、かえって自由をくれた。多少やんちゃなことをしても、伝統がドンとあるので大丈夫なのだ。私が、短歌という伝統ある世界で、やんちゃなことをできたのと、それは似ている。



山上 浩氏
― 1997年3月卒 ―
(湘南鎌倉総合病院 救命救急センター長)

救急医をしている。

高校入学時は建築士をめざしていたが、担任のすすめや祖父の病気もあり、医師に興味をもった。人生を指南してくれる出会い、経験があったのは幸せなことだと思う。

痛み、苦しみ、不安を抱えた患者をみるには、教科書の知識だけでは足りない。自分のよい経験、つらい経験をいかし、患者の立場になれることが大切だ。

高校では、勉学に部活動に、思いきって挑戦するといい。結果によらずかえがたい経験となる。藤島高校には、文武両道という確固たる伝統、そして、応援してくれる先生や仲間がいる。

02 前年度 卒業生の声 / Voice



佐藤健太郎
(福井大学附属義務教育学校出身)
[男子バレーボール部 ジャグリング部]
東京大学理科一類

仲 間

藤島高校の最大の魅力は、高い目標を目指す仲間がいることです。似たような志を持つ仲間の存在によって、途中で挫けそうになったときでも前向きな刺激を受け、再び努力を続けることができます。また、その姿勢は勉強にとどまらず、部活動や課外活動など多くの場面で見られ、藤高生はそれぞれが互いの頑張りに影響を受けながら、自分の目標に向かって努力し続けています。



西村 萌那
(足羽第一中学校出身)
[SSH研究クラブ国際教養]
京都大学法学部

可能性を広げる場所

藤島高校の魅力は、多様な選択肢を提供してくれる点です。行事や部活動に加え、校外での講義や体験活動など、興味を広げられる機会が豊富にあります。私も国際教養部で社会問題について学び、また卒業生との座談会を通して将来について考えを深めました。こうした経験は、自分の進む道を考える大きな支えになります。仲間や先生に囲まれながら、学ぶことの面白さを実感できる学校です。



矢納 稜士
(三国中学校出身)
[男子ソフトテニス部]
一橋大学経済学部 経済学科

互いに力を高め合える環境

藤島高校の良いところは様々な分野で活躍する仲間と出会い、多くの刺激を受けながら学校生活を送ることができることです。藤島高校は勉強ばかりしなければならないという印象を持っているかもしれませんが、部活動や校外の活動においても自分の力を最大限に活かせるような環境が整っています。ぜひ藤島高校で多くのことにチャレンジして充実した3年間を送ってください。



白﨑 十和
(芦原中学校出身)
[バドミントン部]
神戸大学経済学部

一生ものの出会い

一生の友達、飽きない毎日、なりたい自分。

これが藤島高校では手に入ります。なんといっても藤島の魅力は個性。自分とこれでもかと波長の合う友達がいるはずです。逆に自分にないものを持っている人も沢山います。未知なタイプの人との出会いもあるでしょう。刺激的な学校生活になること間違いなしです。さらに出会いの数だけ可能性は広がります。なりたい自分がきっと見つかります。



久保 文乃
(武生第一中学校出身)
[陸上部]
福井大学医学部 医学科

藤島高校での有意義な3年間

藤島高校は、勉強だけでなく部活動や行事にも全力で取り組める環境が整っています。自分の強みに気づかせてくれる先生方や、いつも励ましてくれる仲間の存在により、どんなに大変なことも乗り越えることができました。また私は電車通学だったのですが、電車の中で単語帳を見たり、友達と悩みを打ち明けあったりなど、通学中も有意義な時間を過ごすことができました。ぜひ藤島高校で充実した3年間を過ごしてください。



五十嵐杏菜
(藤島中学校出身)
[箏曲部]
金沢大学医薬保健学域 薬学類

挑戦できる場所

藤島高校は、自分の興味のあることに打ち込むことができる場所です。勉強だけでなく、部活動や課外活動にも力を注ぐことができ、先生方も挑戦しようとする私たちを全力でサポートしてくださいます。私は大学の研究プログラムや医療体験に参加し、知見を深めることができました。藤島高校でのこのような経験は、私に座学だけが勉強ではないのだと気付かせてくれました。藤島高校で、自分の興味のあることを追究してみませんか。

FUJISHIMA HIGH SCHOOL



通学方法 / Access

福井鉄道およびえちぜん鉄道利用の場合

…… 田原町駅下車 徒歩７分

バス利用の場合

京福バス …… 藤島高校前下車 徒歩１分

コミュニティバスすまいる … 藤島高校前下車 徒歩１分

福井県立藤島高等学校

〒910-0017 福井市文京２丁目８番30号
TEL.0776-24-5171 FAX.0776-24-5189

ホームページ
https://www.fujishima-h.ed.jp/

CHECK!

題字／「志を立てむ」３年 芦原 奈那美 「文武不岐」３年 久保 柚月

〈写真協力〉(株)渡辺写真館